

岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会（議事要旨）

1 日 時：平成30年12月6日(木) 14:00～16:00

2 場 所：岐阜県庁11南会議室

3 出席者

団体名	役 職	委員名
岐阜県医療審議会	会長	永田 知里
岐阜県立看護大学	学長	黒江 ゆり子
岐阜薬科大学	学長	稲垣 隆司
岐阜県医師会	常務理事	三輪 佳行 (欠席)
岐阜県病院協会	会長	富田 栄一
岐阜県看護協会	会長	石山 光枝
岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	近田 和彦
和やかサロン	代表	高木 和子
あけぼの岐阜	代表	橋渡 智美
岐阜県健康福祉部保健医療課	課長	稲葉 静代
〃 健康推進室	室長	赤尾 典子
〃 健康推進室がん対策係	技術課長補佐	井上 玲子
〃	技術主査	横山 ひろみ
〃	主事	小寺 貴也

4 議事要旨

議事1 平成30年度がん診療連携拠点病院指定更新推薦の概要

事務局から説明を実施した

議事2 各拠点病院の申請状況及び指定更新にかかる事務局案

県が、がん診療連携拠点病院（以下、「拠点病院」という。）として厚生労働省に推薦する医療機関を審議

意見：現行の7カ所の拠点病院の体制で、各二次医療圏のがん医療の均てん化はおおむね図られており、今後も維持することが必要。

検討結果：岐阜大学医学部附属病院を県拠点病院として、その他現行の6病院を地域拠点病院として厚生労働省に推薦することを全員賛同のもと決定

議事3 がん診療連携拠点病院の機能に期待すること

- ・がんに関する専門・認定看護師、認定薬剤師等が、拠点病院機能の中で活躍できる場が増えることを期待する。
- ・がんにおける在宅医療を進めることが非常に重要。入院中の医療ケアと退院後の在宅医療との落差が大きい。双方の落差をなだらかにする必要がある。
- ・拠点病院から在宅医療につなぐネットワークが広がることを期待。